日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	コーラス2
科目基礎情報				
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期 後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	1単位	授業形態	実習	
教科書/教材	メロディー譜面を配布する			
担当教員情報				
担当教員	平山 大関	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的				
<p>スタンダードな楽曲で3度5度の基礎のコーラスをメインにコーラスワークの構成やなりたちについて理解する。譜面を解読しながらソプラノ、アルト、テナー、ベースの4パートに分かれて楽曲をその場で耳で覚えて歌いあげ楽曲を作り上げる。その場でパートを覚える事で個々の耳を鍛える事が出来、ヴォーカリストとして今後様々な分野で活躍出来る対応能力を身につける事が出来る。楽曲に応じて正確なピッチやリズム感、音符の長さを意識して音感の訓練をする。大人数で合唱することにより安定した声量で歌えるよう喉を鍛え、表現力を身につける。自身のオリジナル楽曲でもコーラスをつける事が出来るようになる。</p>				
到達目標				
<p>プロとして活動する上で必要な「メロディーから1度、3度、5度のハモリ」の音感を身につけ、他パートにつられる事がない様に歌いこなす。コーラスを歌唱する上で様々な声質やテクニックを身につけて歌う事が出来るようになる。コーラスとは個々が好き勝手に歌うのではなく、個性を抑えつつ他者と協力し合いながら共に一つの楽曲を作り上げる事である。ダイナミクスや声質、バランスを考えて作品を完成し、オーディエンスに向けパフォーマンスとして披露できる事を到達目標とする。</p>				
教育方法等				
授業概要	この授業ではグループで行っていく。各パートに分かれた譜面を受け取り、各パート毎に講師が伴奏しながら模範歌唱を行い抑揚合せて覚えていく。譜面の音符の長さや休符などを意識し、曲想に合わせ必要性を理解する。前期では英語の発音の違いを意識する。同パートの声を聞きながら歌う事で他のパートにつられない音感を身につける。その上で個々の声の特徴や個々の目標に達する様なパートを選びながら、1つのパートだけではなく様々なパートに移動しながら行う。			
注意点	プロの現場に必要なマナーの観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。必要以外のスマホ等の操作は厳禁とする。飲料を持参する（発声器官の保湿と保護及び、風邪など空気感染症の生徒間感染を予防する）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験	30%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	提出物	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	課題曲6「September」(1)	パート分けを行い発音練習とリズムトレーニングの方法がわかる。		
2回	課題曲6「September」(2)	譜面を読みながら耳で覚えて歌える。負担かからないように裏声を意識して歌える。		
3回	課題曲6「September」(3)	リズム、裏声に気をつけて抑揚をつけて全員または各パート一人ずつでも歌える。		
4回	課題曲7「Roar」(1)	パート分けを行い発音練習とリズムトレーニングの方法がわかる。		
5回	課題曲7「Roar」(2)	各パートの音を譜面を読みながら耳で記憶できる。RとLの発音を意識して歌える。		
6回	課題曲7「Roar」(3)	リズム、裏声に気をつけて抑揚をつけて全員または各パート一人ずつでも歌える。		
7回	大人数合唱課題曲(1)	大人数合唱の意義がわかる。パート分けを行い自分のパートを把握できる。		
8回	大人数合唱課題曲(2)	パート毎にメロディを記憶できる。リズムに気をつけて全員で歌える。		
9回	大人数合唱課題曲(3)	抑揚をつけて各パート一人ずつ歌える。全員で歌いながらハーモニーを自覚できる。		
10回	課題曲8「Man In The Mirror」(1)	パート分けを行い発音練習とリズムトレーニングの方法がわかる。		
11回	課題曲8「Man In The Mirror」(2)	各パートの音を譜面を読みながら耳で記憶できる。P,F,V,Oの発音を意識して歌える。		
12回	課題曲8「Man In The Mirror」(3)	リズムに気をつけて、抑揚をつけて全員で歌える。順番にリードヴォーカルを歌える。		
13回	進級Live 合唱曲(1)	パート分けを行いパート毎のメロディを把握することができる。		
14回	進級Live 合唱曲(2)	抑揚をつけて各パート一人ずつ歌える。全員で歌いながらハーモニーを自覚できる。		
15回	まとめ	全体のまとめ		